

第3回ワークショップ結果概要

深沢区域

日 時：平成30年11月13日（火） 19時～21時

会 場：深沢会館

参加者：13人

■会の流れ：

1. 開会
2. ワークショップの実施にあたって
3. 第2回ワークショップまでのふりかえり
 - ・第1回ワークショップで出たご意見
 - ・第2回ワークショップで出たご意見(参考) 各区域における第2回までの検討結果概要
4. グループワーク
 - (1) この地区の交通サービスの方向性（素案）の確認
 - (2) それぞれの交通サービスには、どのようなメリットとデメリット（良い面と悪い面）がありますか？
5. ふりかえり、閉会

■資料説明

ワークショップの開催趣旨、ワークショップの実施方法等、第1回ワークショップにおいて詳説した事項を再度簡単に説明するとともに、第2回ワークショップまでにおける話し合いの結果を振り返った。

■グループワークの結果1：この地区の交通サービスの方向性（素案）の確認

第2回ワークショップまでの議論を踏まえて事務局が設定した「この地区の交通サービスの方向性(素案)」に関して、参加者の考えとのずれがないかどうかを確認いただいたところ、サービスの目的、主な利用者の想定についてそれぞれ修正意見をいただいた。

■グループワークの結果2：それぞれの交通サービスには、どのようなメリットとデメリット（良い面と悪い面）がありますか？

「グループワーク1」の結果も踏まえ、それぞれの交通サービスに関するサービス内容や、メリット、デメリットを参加者の方々に挙げていただいた。

その後、テーブルごとに発表の時間を設けることで、参加者の状況や意見を共有するとともに、全体のまとめを行い、本日のグループワーク結果を参加者にご確認いただいた。

【グループワーク1】この地区の交通サービスの方向性（素案）の確認

①この地区のサービスの目的

【素案】

鉄道駅や病院、買物に行く交通を確保する。

【いただいたご意見】

- ・金融機関や市役所も外せない。

②主な利用者の想定

【素案】

- ・自分で車を運転できない方※
- ・免許返納をした方

※なお、この「自分で車を運転できない方」には、運転免許を持っていないなど継続的に車を運転できない方と、病気やケガなど、若い人でも一時的に車を運転できなくなかった方を含むととらえている。

【いただいたご意見】

- ・来訪者、家族が車を使用し、自分が使える車がない住民も含める。

③導入を検討したい交通サービス

【素案】

分類	サービス内容	備考
1) 必要な時に利用できるドア to ドアの交通	・自宅の近くから目的地まで、必要な時に利用できる車両を運行する。	(具体的なサービス内容は、要検討)
2) タクシー代の補助	・タクシー代を補助する。	・タクシー券の配布。 (タクシーを活用。利用者の費用負担を減らす)
3) 必要な時に運行する定路線型の交通	・決まった路線で、必要な時に車両を運行する。	・必要な時に運行する小型のバス。 (外部からの来客にも対応できる)
4) 住民主体の交通	・住民の自主運行による交通手段を導入する。	・市から自治会へワンボックスカーを貸与など。 (具体的なサービス内容は、要検討)

【いただいたご意見】

- ・とくにありませんでした。

【グループワーク2】それぞれの交通サービスにはどのようなメリットとデメリット(良い面と悪い面)がありますか？

①サービス内容に関するご意見

分類	サービス内容の提案等
1) 必要な時に利用できるドア to ドアの交通	<ul style="list-style-type: none"> ・住民相互の助け合い。 ・会員制 ・いわゆる「タクシー」。
2) タクシー代の補助	<ul style="list-style-type: none"> ・相乗りの仕組みがあるとよい。 ・誰を対象にするのか、支給基準の定義が前提 ・軽自動車のタクシーも考えられる。
3) 必要な時に運行する定路線型の交通	<ul style="list-style-type: none"> ・盆堀地域で運行しているようなもの。 ・市が交通事業者へ運行を委託。 ・武蔵五日市駅まで、五日市線のダイヤに合わせて運行。 ・小型車（ワンボックスカー等）で、車いすの人も乗れると良い。 ・駅以外（例：病院）も経由して欲しい。
4) 住民主体の交通	<ul style="list-style-type: none"> ・ドライバーの確保が困難なので、イメージがわからないが、将来、自動運転技術が確立すれば、可能かもしれない。 ・お金のやり取りではなく、何かポイントが付くような仕組みにすると良いのではないか。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・商業施設（秋川の東急ストア等）の送迎サービスがあると良い。 ・市内の公共交通空白地域を横断的に運行する（深沢地区と盆堀地区）交通も考えられる。

②交通サービス（候補）のメリット・デメリット

分類	サービス内容	メリット	デメリット
1) 必要な時に利用できるドア to ドアの交通	・自宅の近くから目的地まで、必要な時に利用できる車両を運行する。	・会員制にして会費を集めれば、予算も確保しやすい。	・ドライバーがおらず、確保が難しい。 ・高齢化が進むため、維持できないのではないか。 ・ドライバーのシフト等仕組みづくりが大変。 ・市の財政でドア to ドアの運行ができるのか？ ・目的地が人それぞれ違うので、均等なサービスができるのか？
2) タクシー代の補助	・タクシー代を補助する。	・安くタクシーが利用できる。 ・ドア to ドアである。 ・すでにタクシー会社があるので、実現しやすい。 ・（ドア to ドアより）現実的。 ・タクシーの利用が増えれば、この地域のタクシーの車両数が増え、より便利になるし、地域も活性化する。	・タクシーの空きがないと使えない。 ・予算に上限があり、無制限に使える訳ではなく、利用が増えればそれだけ費用が掛かる。 ・人によって条件（利用頻度、健康状態、経済力等）が違うため、全員一律に補助するのではなく支給基準（例：運転できない、免許返納者限定、回数上限、行先制限等）を設ける必要がある。 ・本当に使いたい人が使えるのか？
3) 必要な時に運行する定路線型の交通	・決まった路線で、必要な時に車両を運行する。	・分かりやすい。 ・あじさいシーズンの観光客等も使える。	・行ける範囲が限定される。 ・運行ダイヤ等を決めるのが大変。 ・利用者によって目的地が違う。 ・住民が運転するのは難しい。 ・利用者数は少ないと思われるため、現実性が低い。 ・それなりに経費が掛かる。
4) 住民主体の交通	・住民の自主運行による交通手段を導入する。	・自由が利く。 ・住民皆、顔見知りなので気楽に、安心して乗れる。	・若い人がいないので、ドライバーの確保が最大の課題。 ・発起人（リーダー的な人）がいないと始まらない。 ・事故があった場合の責任。

■ 第3回ワークショップの様子

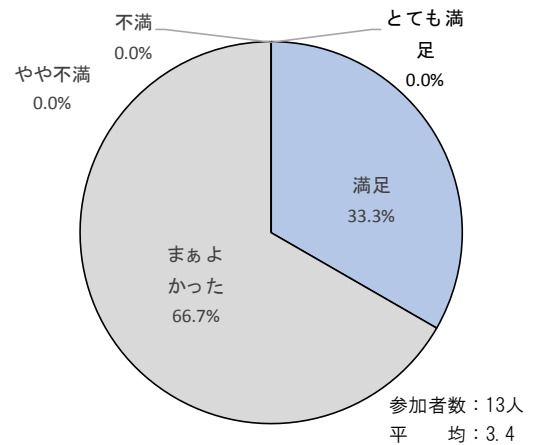


■参加者の感想（アンケート結果）

今日のワークショップの全体的な満足度はいかがでしたか？

5. とても満足 4. 満足 3. まあよかった
2. やや不満 1. 不満

平均は、とても満足＝5点、満足＝4点、まあよかった＝3点、やや不満＝2点、不満＝1点として合計し、回答数で割ったもの



○今回、ご自身の中で、気づいたこと、発見したことは何ですか？

- ・多数の意見をまとめるのは大変。

○ファシリテータ（進行役）やほかの参加者の発言で、特に印象に残っている発言があれば、ご記入ください。

- ・補助が人により異なるという考えが回らなかった。
- ・軽自動車のタクシーがあればいい。

○本日の企画・運営で、良かった点、感じた課題をお教えてください。

- ・少し先が見えて来たかな！
- ・皆さん親身に考えてくれた。
- ・テーブル毎にフリートーキングが出来た。